

おるご～る

No.
207

男女共同参画

わこうプラン推進委員だより

岡総務人権課 庶務・人権担当 ☎424-9094

居心地のよい 社会にするには？

わこうプラン推進委員
浅野 里香

「実は私、ゲイなんですよ」。かなり前になるが仕事仲間と外食中、突然カミングアウトを受けた時のことを今もよく覚えている。どう返答してよいかわからず「え？そうなんだ？」くらいしか反応できずに食べ続けていたら、「これでも話すのに勇気がいったんですよ～」と返されてしまった。

今般、和光市男女共同参画情報紙「おるご～る」の制作に関わることになり過去の記事に目を通していたところ、性の多様性をテーマとした掲載号に「カミングアウトを受けたら」という記述を見つけた。「『話してくれてありがとう』『他の人に話さないから安心して』『何かできることはない？』と返すことを心がけたい」とあった。かろうじて「他の人に話さない」ことを約束しただけで、あとはほど遠い反応だったといまさらながら反省した次第である。

その仕事仲間とは友人として親しくなり、性的マイノリティとしての生きづらさや暮らしにくさといった話を聞くようになった。印象的だった言葉がある。いわく「東京だから自分らしく生きられる」。

時代は下り、東京以外の地域でも性的マイノリティに対する理解が進み、制度も整ってきたところがある。しかしまだ限定的だ。その友人が全国のどこで暮らそうとも「自分らしく生きられる」社会に向けた歩みは遅々としている。

マイノリティが生きやすく暮らしやすい社会とは、ひいてはすべての人が生きやすく暮らしやすい社会ではないだろうか。そんな居心地のよい社会にするには？社会の構成員となる私たち一人一人が「違い」を「個性」として認めあっていけば、そうした社会に近づくかな…などと考えるのがいかがだろうか。

『男女共同参画苦情等処理窓口をご利用ください！』

「市の男女共同参画推進施策や男女共同参画の推進に影響を及ぼす施策への苦情」や「セクハラや男女共同参画を阻害する人権侵害の相談」をお受けします。

岡総務人権課 庶務・人権担当 ☎424-9094